

運転再開に至った左半側空間無視の一症例

桔梗ヶ原病院

○佐藤理恵，須田広樹，野々村亮汰，松塚翔司，園原 和樹

【はじめに】右被殻出血により高次脳機能障害(注意障害, 左半側空間無視, 処理速度低下), 左同名半盲を呈し, ドライビングリハビリテーションを行い, 運転再開に至った症例を経験したので報告する. 今回の発表にあたり症例への侵襲的な介入はなく倫理面への影響はない.

【症例】70 歳男性で, X 年 2 月スキー中にめまいが出現し、右被殻出血の診断にて入院となる. 全身状態が安定したため, X 年 3 月リハビリテーション目的で当院へ転院となる.

【経過】入院後の経過で左同名半盲は改善. 左半側空間無視が残存していたため, ドライビングシミュレーターを使用したリハビリテーションを開始し, 徐々に改善を認める. 実車評価を経て, 運転再開に至る.